

目 次

目次	・・	I
0. 「西欧中世文書の史料論的研究」の趣旨と活動目標	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1. 研究会 「文書史料とはなにか ―類型と機能―」	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
岡崎 敦	「文書史料とはなにか ―序論にかえて―」	9
岡崎 敦	「西欧中世の証書系史料 ―問題関心の変容と研究の展望―」	13
山田雅彦	「中世都市の文書管理 ―北フランス・ネーデルランドの諸事例に見る―」	25
徳橋 曜	「中世イタリアの文書とその保管をめぐって」	40
高橋一樹	「日本中世文書の体系とその歴史的性格 ―証書史料と内部資料を中心に―」	45
丹下 栄	「史料論研究会聴講記」	49
2. 研究会 「9-11 世紀の私文書」	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
法花津晃	「10-11 世紀クリュニー修道院と在地領主 ―Saint-Gengoux-le-National 関連諸権利に見る 紛争とその解決―」	55
足立 孝	「9-11 世紀ウルジェイ司教座聖堂教会文書群の生成論的検討 ―司教座文書からイエ文書へ、イエ文書から司教座文書へ―」	58
城戸照子	「9-11 世紀イタリア北部の notarius と私文書」	63
森 貴子	「私文書研究の動向とその可能性 ―「9-11 世紀の私文書」研究会へのコメント―」	70

II

3. シンポジウム 「リテラシー研究の最前線 ―西欧中世史から―」 (九州歴史科学研究会と共催)	75
岡崎 敦 「リテラシー研究の最前線 ―西欧中世史から―」	77
梅津教孝 「中世初期のリテラシーと、 初期カロリング王文書を書くこと・読むこと」	87
岩波敦子 「史料学からリテラシー研究へ ―ドイツ・ミュンスター中世研究所の活動を中心に―」	92
有光秀行 「シンポジウム「リテラシー研究の最前線 ―西欧中世史から―」 についてのコメント」	98

執筆者紹介